

平成16年10月8日

各 位

会社名 ユニパルス株式会社
代表者名 取締役社長 後藤 克誓
(コード番号 6842 東証第二部)
問合せ先 取締役経営統括本部長 和田 倫幸
TEL 03-5148-3000

固定資産減損会計の早期適用及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成16年10月8日開催の取締役会において、平成16年9月期より「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用することを決議いたしました。これに伴い、最近の業績の動向なども踏まえ、平成16年5月14日の中間決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用について

当社は、財務諸表の透明性を高め、財務体質の一層の健全化を図るため、平成16年9月期より「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用することいたしました。

当社が所有している賃貸用不動産及び遊休不動産について減損処理を行い、平成16年9月期において特別損失 310 百万円を計上する予定です。

2. 業績予想の修正

(1) 平成16年9月期通期業績予想数値の修正(平成15年10月1日～平成16年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	3,750	180	117
今回修正予想(B)	3,202	100	△401
増減額(B-A)	△548	△80	△518
増減率	△14.6	△44.4	—
前期(平成15年9月期)実績	3,766	123	△130

(2)修正理由

平成16年9月期の売上高・経常利益につきましては、特需分の売上がなくなること等により前期比49%減を見込んでいたロジスティクス事業の落ち込みが予想以上であったこと、情報・通信事業が前期より大幅に売上を伸ばしたものの計画達成に至らなかったこと等により前回公表した業績予想を下回る見込みになりました。

当期純利益につきましては、「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用により発生する減損損失310百万円に加え、放送メディア事業(ハードディスクレコーダー)の事業撤退損等(セキュリティ事業の棚卸評価損等も含む)398百万円、有価証券評価損35百万円、特別退職金6百万円について新たに特別損失に計上する予定であるため、前回公表した業績予想を下回る見込みになりました。

以上の理由から、上記の通り業績予想を修正いたします。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づき判断したものであります。従いまして、実際の業績は様々な要因により、この予想とは異なる場合があります。

以上